



# よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 うつく い 美しく生きる



四日市市立中部中学校

令和5年9月22日

第11号

すてき すがた 素敵な姿がたくさんみられました。

学校行事

## 体育祭を作りあげるといふこと。



せつさたくま ちようせん たいいくさい かいさい  
「切磋琢磨 ～みんなで挑戦～」のテーマのもと、令和5年度の体育祭が開催されました。新しい  
きようぎ れんしゅう ぼめん だれひとり と のこ  
競技がいくつもあり、練習から「切磋琢磨」する場面がたくさんみられた体育祭でした。「誰一人取り残さな  
いの  
い」「みんなが楽しめる体育祭」をめざした、今どきの体育祭ができました。



ごご せいとかいしゆもく おおなわとび いがくねん あらそ たてわ  
午後に行われた生徒会種目の大縄跳びは異学年の3チームで争います。この異学年（縦割りと言  
ます）で練習・運営を行うことが、予想以上に生徒の自治・自律の力を育みます。新しく始まった競技で  
もあり、チームを引っ張る3年生は非常に苦労をした様子でした。でも、その役割があったからこそ、  
まんぞくかん  
満足感も高かったのではないのでしょうか？

がっこうぎょうじ ひつよう かくとく  
学校行事は、『自律』に必要な「4つの力」を獲得する  
大きなチャンスです。3年生は、そのことがよくわかったと思  
います。そして、来年リーダーとなる2年生も何らかのヒ  
トをつかめていたら幸いです。

**つながる力**  
自分の考えや気持ちを伝える力、協力する力、違いを受け入れる力

**みつめる力**  
自分のよさに気づき、社会の一員としての自分らしい生き方を考える力

**うごく・いかす力**  
課題を発見・分析し、計画的に解決する力、判断する力、調整する力

**めざす力**  
自分の将来を切り拓いていく力、選ぶ力、見つける力

# ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ けっか こうさつ 全国学力・学習状況調査結果の考察



ぜんかい 前回の四つ葉点描で、全国学力・学習状況調査の報告を行いました。結果を踏まえて、「これから何をどのように改善していくか。学校は？家庭は？生徒自身は？」という問いを提供しました。

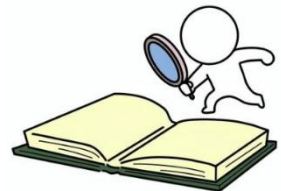
こん 今回、その答えを期待するでしょうが、「答えを教えてください。」という姿勢そのものが問題である・・・という、非常にややこしい話なのです。

## 自分の力で「答えを創る」 ☆☆

たとえば、「私たちのチームが、縄跳びで優勝するには、どうしたらいいのだろうか？」という問題があります。「みんなで、声を出す。」「足を高く上げて跳ぶ。」など、答えはたくさんあります。縄の回し方、列の作り方にも工夫の余地はありそうです。そういうことを、みんなで対話をしながら納得解（多くの人が納得できる答え）を見つける・・・。こういう力が、今、求められているんです。そのためには、根拠を基に考えたり、みんなにわかるように説明できたりすることが必要になってきますよね。

これ、違う方向から見たら、「みんなのために、解決策を考える。」「学校やクラスに役立つことを考える。」つまり、貢献することにもつながってきます。

入学試験に探求型を導入する大学が増えてきています。高校では探求の授業がすでに導入されており、世の中は、誰かが考えた正解を求める力よりも、自分オリジナルの納得解を創り出す力を求めていることがわかります。



## 学校や家庭でできること ☆☆

「全国学力・学習状況調査」の問題は、上のような力が付いているかを調べるための問題です。問題が解けるだけでは困るのですが、解けないのは、そもそも困る。

今、中部中では『自律：自分で考え、判断し行動する』ことを目指しています。授業も、対話する機会を増やし、仲間の力で問題解決をするものになってきています。

ご家庭でも、「〇〇しなさい！」というのは簡単ですが、（それが本人にとって最良の方法であったとしても）答えを教えていることになりません。自分で考えさせる、自分で答えを選ばせることに切り替えていきましょう。突き放すのではなく一緒に考えることは、さらに有効です。大人の答えを押し付けるのではなく、でも、わがままを許すのではなく、対話による納得解を見つける・・・。そういう学校、家庭でありたいものです。そして、生徒の皆さんは、「言われないとできない自分」を見つめ直しましょう。

ちなみに、「勉強はしたの？」ではなく、「どんなことがわかったの？」が、良い質問ですよ。